

第7回 航空合同WG 議事要旨

1. 日 時 : 平成25年12月11日(水)13:00-14:30

2. 場 所 : ソリッドスクエア西館1階第2会議室

3. 議事の概要

(1) 議題

① 基本仕様説明会の実施結果について

○ 事務局(センター)から、資料1に基づき説明の後、意見交換を行った。

② 詳細仕様検討に向けて(今後の予定)

○ 事務局(センター)から、資料2に基づき説明の後、意見交換を行った。

③ 詳細仕様検討項目の確認

○ 事務局(センター)から、資料3に基づき説明の後、意見交換を行った。

④ その他

○ 事務局(センター)から、損害保険業界、船用品業界からのWG委員の参加について提案を行った。

(2) 意見交換の概要

○ 基本仕様説明会の実施結果について

意見なし

○ 詳細仕様検討に向けて(今後の予定)

意見なし

○ 詳細仕様検討項目の確認

● 税関関係業務の見直しの、ドキュメント通関について。荷送人・荷受人毎の申告の検討とのことであるが、業務に非常に負担がかかる。現状維持のシステム開発を要望として提示させて頂きたい。(委員)

⇒ 具体的な検討はこれから行うが、基本仕様の際に業界の皆様からヒアリングを行った段階では現行からの更なる簡素化ができる方法であれば、電子化されることは良いと伺っている。一方で関税局からは本来1件ずつ申告すべきところが現在は簡素化された状態で行われているため、電子化を実現するためには詳細なデータをもらい、それに対する簡易な仕組みを作りたいとの考えがある。詳細仕様検討の段階で、双方からご理解頂ける仕組みを検討していきたいが、通関制度の問題でもあるため関税局での検討もお願いしたい。(事務局)

● 通関士確認業務の新設について。検査・訂正となった場合の情報を含めての新設な

のか、システム上だけの新設を検討しているのか具体的な案を教えてください。

(委員)

⇒ 現在の(関税局の)構想としては、修正・変更がない段階を前提とした業務を作ろうとしている。確認後の変更・訂正申告といったパターンをどこまでカバーできるのかはこれからの検討になる。ドキュメント通関業務と同様、制度の問題がからむものなので、制度に合わせたやり方を詳細検討でご相談させていただきたい。(事務局)

● ①XML 対象業務の見直しについて。e-AWB 化の対応を検討ということであるが、航空貨物の場合 AWB 券面の電子化とそれに伴って NACCS の機能要件の変更も検討されているのか。

②航空保安対策基準見直しへの対応について、航空局との保安対策基準との整合性とあわせて具体的なイメージを教えてください。(委員)

⇒ ①NACCS との関わりについては、まだ具体的な検討はしていない。IATA からは e-AWB 化を全面的に推し進めるとのことで一部航空会社様では電子化に踏み切っているようであるが、足並みがそろわないといけないということもあり、現在は情報収集に努めている段階である。何か情報等があれば教えてください。

②システム対応について、次期更改では待てないため現行仕様での検討が必要ではないかとのことで、現行システムでどのような対応ができ、急ぐ必要があるのか関係業界と意見交換を行った。当面は現行の運用で対応できそうであり、NACCS を使った情報送信だけで保安局に了承を得られるのかという意見もあった。実際の想定と運用が噛み合っていない部分もあり検討するには時期早尚ということで、現行システムでの対応も含め関係業界と検討を進めていく。(事務局)

○ その他

損害保険業界、船用品業界からの WG 委員参加の提案について、委員からの異議はなし。

(3) 今後のスケジュール

○ 第 8 回の航空合同 WG の開催は平成 26 年 5 月予定。

(参考) 第 7 回航空合同 WG の委員は別紙のとおり

以上